



❖ 巻頭インタビュー ❖

春、心はずむ季節

長崎森の木脳神経外科 院長 **古賀 久伸**

気持ち新たに始めるこの季節、森の木は1992年の開院から数えて、19回目の春を迎えられました。古賀院長に、この春の心構えなどを伺いました。

まず一言で今を表現して下さい。

Spring has come.(スプリング ハズ カム、春が来た)ですね。

このスプリングにはいろいろな意味があります。名詞では、ばね、ぜんまい、泉、弾力などの意味もあり、動詞では、跳ねる、おどる、湧き出る、などの生き生きとした動きを表現します。森の木は今年も、**春はスプリングです。**

森の木は春に元気よく飛び出すということですね。

新人さんも入られたことでしょうか。新入生、新職員に何かアドバイスをいただけませんか。

どこも希望あふれる新人でいっぱいでしょう。未知のことにたくさん出会うことになりますね。まずは心構えを含めて、基本のルールをしっかり学ぶことです。これをおろそかにすると直ぐに挫折してしまいます。その上に様々な経験を積んで、実力をつけていきましょう。

ところで森の木にはたくさんの桜の木があり、温かい春を感じさせてもらっていますが、桜には何か訳があるのでしょうか。

どなたにも桜にまつわる思い出がおありかと思います。私は子供の頃、春の遠足で行く山のたくさんの桜の花が、春の光にまぶしく輝いていたのが忘れられません。そして、その桜は私の祖父が、みんなを楽しませるために植えたことを母から聞いていました。祖父に負けられないと思って植えたのが本音ですが、まだまだです。

院長にもまだまだと思うことがあるのですね。

たくさん未熟な点がありますが、春には気持ちにもう一度ねじを巻きなおして、**職員全員で勢いよくスタート**し、今年も成長しようと思っています。

私まで何か元気になってきたみたいです。



森の木セミナー 未来の医療を築く。

電気とガソリンで走行するハイブリッドカーに代表されるように、異なる技術の組み合わせで新たな製品が生み出されている昨今、総合科学である医療の発展にもいろいろな分野の融合が必要と考える古賀院長。医学の領域はもちろんのこと、社会学や経済学、心理学など幅広い分野との交流で、より良い医療を目指します。

第1回 森の木ハイブリッド(複合的)医療セミナー



森の木では、神経外科の立場から脊髄(頸や腰の神経)や脊椎(背骨)の手術を顕微鏡下で行っていますが、病気の程度や種類によっては整形外科との協力が必要なことがあります。そこで今回、整形外科領域における脊椎外科のエキスパート、小西宏昭先生(長崎労災病院副院長)をお迎えし、脳神経外科とは異なるダイナミックな手術法や貴重な臨床経験についてご講演いただきました。古賀院長と小西先生は大学時代の級友でもあり、診療科目の垣根を越えた活発な意見交換が行われました。

学会報告 全国へ、そして世界へ発信する「森の木」の声。

日頃の活動をまとめ、反省し、新たな知見や技術について発信しています。昨年11月から今年3月までの活動を一覧にまとめました。

2009年11月～2010年3月の学会報告

演題名	発表者	学会名(開催地)
1 3.0T MRIによる診断と治療	古賀 久伸	長崎脳神経外科研究会(長崎)
2 当院における3.0T MRI導入後の診療変化	古賀 久伸	佐賀脳神経外科懇話会(佐賀)
3 学生の学力の推移から考える臨床実習指導者のあり方	園田 正司	九州理学療法士・作業療法士合同学会(宮崎)
4 自宅における転倒予防について	米村友文子	日本通所ケア研究大会(広島)
5 上肢機能訓練の方向性 ～SIASとTractographyを用いての試み～	市山 明伸	長崎県作業療法士学会(長崎)
6 VISTAを使用した血管撮像	藤田 均	長崎CT・MR研究会(長崎)

地域脳卒中センター

急性期の脳卒中医療に対応できる医療機関として長崎県からの認定を受けました。森の木は、予防から急性期、リハビリにいたる脳卒中医療に全力で取り組みます。



←認定証書